

最上地区の県立高校再編整備計画<第2次計画(骨子案)>

県教育委員会は、外部有識者等による検討委員会の報告書を踏まえ、平成24年3月に、最上地区の県立高校再編整備計画を策定し、中長期的な計画として下記の方向性を示しました。

<最上地区の県立高校再編整備計画(平成24年3月策定)の概要>

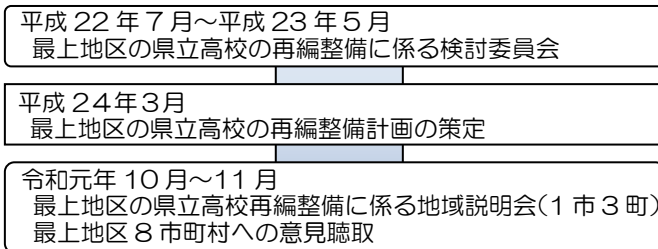
- ・ 第6次山形県教育振興計画期間(平成27年度～令和6年度)終了時には、最上地区全体で480名程度(12学級程度)の入学定員になります。
- ・ その中で、望ましい規模の学校を設置するためには、2校程度に再編する必要があります。
- ・ 学校の配置、各学校の学科構成、多様な学びのスタイルを可能とする昼間定時制の設置等については、第6次山形県教育振興計画期間(平成27年度～令和6年度)後半に、検討を行います。

第6次山形県教育振興計画期間の半ばとなることから、最上地区の高校所在の1市3町における地域説明会や8市町村からの意見聴取を実施するとともに、再編整備に関する基本方針の改定を踏まえながら検討を進め、この度、具体的な高校配置の2つの案(A案、B案)を併記した第2次計画(骨子案)をまとめました。

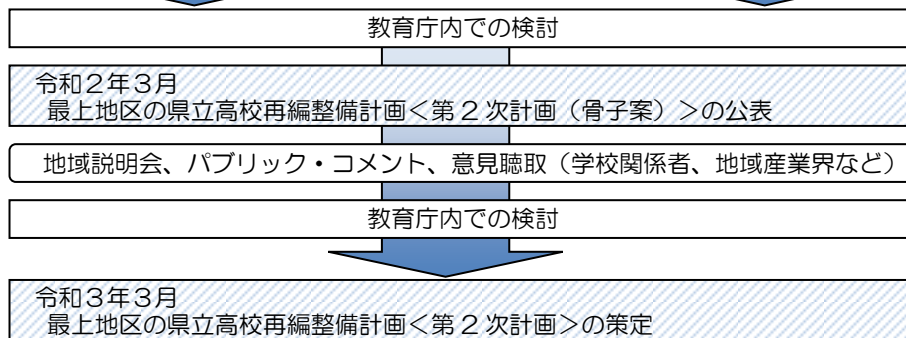
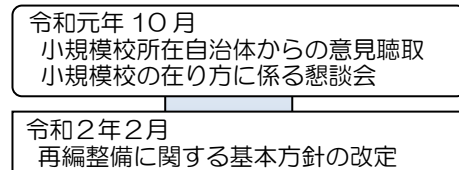
今後は、地域説明会、意見募集(パブリック・コメント)、学校関係者や産業界などからの意見聴取など様々な機会を捉えて、地域の皆様から幅広く御意見をいただきながら更に検討を進め、令和3年3月に最上地区の県立高校再編整備計画(第2次計画)を策定する予定としています。

◇ これまでの検討の経過と今後の予定

<最上地区の県立高校再編整備の検討>



<小規模校の在り方の検討>



最上地区の県立高校再編整備計画の検討にあたっての基本的な考え方

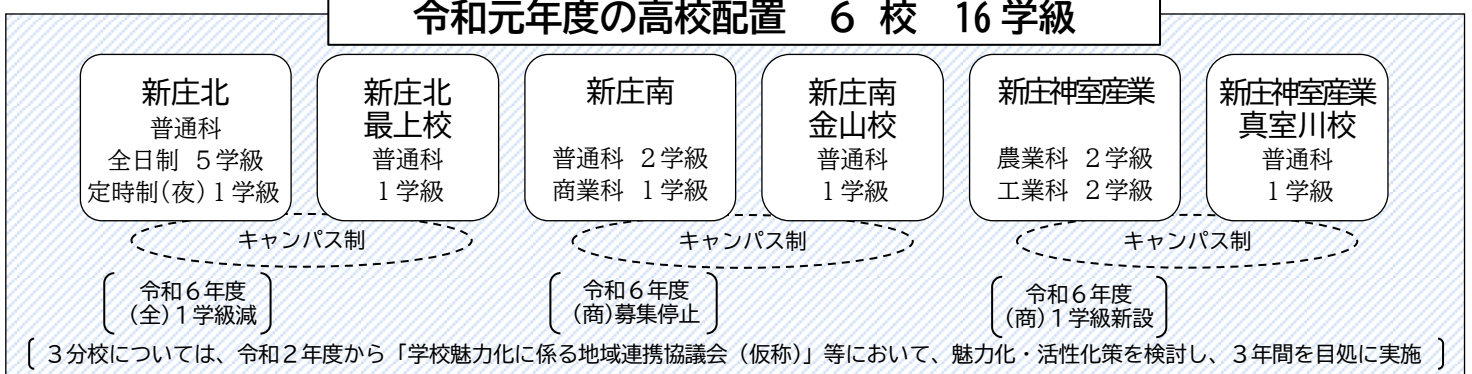
- 生徒の興味や適性に対応する充実した教育課程の編成が可能となり、多様な人間関係の中で互いに切磋琢磨できる環境を整えるため、高校として望ましい規模(1学年4学級～8学級)を確保する
- 高校教育が担う地域産業の人材育成の役割も考慮し、中学生に多様な選択肢を提供するため、普通・農業・工業・商業の学科を設置する
- 様々な入学動機や学習歴を持つ生徒の多様な学習ニーズへの対応、教育の幅の拡大、夜間通学の負担軽減のため、夜間定時制を昼の時間帯に移行し、全日制と校舎を共用しない独立校舎に設置する
- 新庄市内の3校を2校に再編する
- 3分校については、令和2年度から「学校魅力化に係る地域連携協議会(仮称)」等において、学校の魅力化、活性化策を検討し、3年間を目処として実施する

1 新庄市内の高校の再編整備

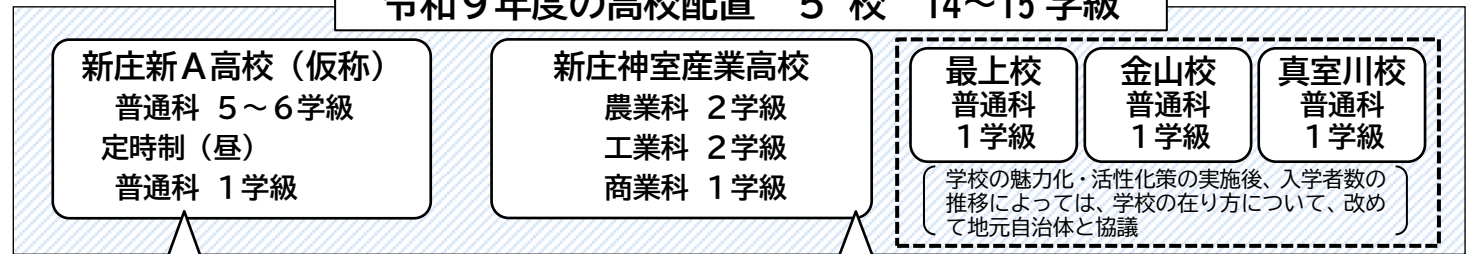
A 案

- ◇ 令和6年度、新庄神室産業に商業科を新設（新庄南の商業科を募集停止）
- ◇ 令和8年度、新庄北と新庄南（普通科）を統合し、新庄新A高校（仮称）を開校
- ◇ 令和9年度、定時制を夜間から昼間に移行

令和元年度の高校配置 6校 16学級



令和9年度の高校配置 5校 14~15学級



全日制の課程

概要

- 普通科5~6学級
- 令和8年度開校に伴い、新庄北・新庄南在籍生は転学
- 新庄北の敷地・校舎を活用

特色

- ・多様な学習ニーズに応えるコースや特色ある選択科目を開設し、進学から就職まで幅広い進路希望を実現
- ・単位制を導入し、教科の特性や生徒の学習目標に応じた少人数や習熟度別指導を行い、生徒の学力向上を実現
- ・地域社会と連携した活動を展開し、地域課題に係る探究型学習を行い、将来地域を牽引する力をもつ人材を育成

定時制の課程

概要

- 令和9年度に、新庄新A（仮称）定時制(夜)の各年次を定時制(昼)に移行
- 新庄新A（仮称）定時制(昼)は、新庄南の敷地・校舎を活用

特色

- ・様々な入学動機や学習歴を持つ生徒の多様な学習ニーズに対応
- ・学び直しを充実させるとともに、多様な進路希望や興味・関心に対応した幅広い選択科目を開設し、主体的に学ぶ生徒を育成
- ・地域と連携した体験的活動を通して教育の幅を広げ、地域社会に貢献する人材を育成

概要

- 農業科2学級、工業科2学級、商業科1学級
- 令和6年度、商業科を新設
- 新庄神室産業の敷地・校舎を活用

特色

- ・稲作、畜産などの生産技術に加え、加工・流通の知識・技術を習得し、6次産業化実践に繋がる担い手や農業関連産業で活躍する人材を育成
- ・機械、電気、土木、建築の体系的・系統的な学習により高い専門性を身に付け、地域のものづくり産業の担い手や環境を創造する人材を育成
- ・ビジネスの基礎的な知識・技術の習得に加え、地域の産業や地域資源を幅広く学習し、地域との関わりを重視した実践的な商業教育を推進
- ・農工商一体の特長を生かし、Society5.0の技術革新や社会動向に対応したスペシャリストを育成
- ・地域産業や大学校などの高等教育機関との連携を強化し、実践的な技術・技能を身に付け、地域社会と産業の発展に寄与する生徒を育成
- ・学科の枠を超えた科目も選択して学習できる総合選択制を導入するなど、生徒の幅広い興味・関心に応じた多様な選択科目を提供

<令和9年度までのスケジュール>

年度	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
新し学校づくり	新庄新A高校（仮称） 再編整備計画策定	教育基本計画策定	開校整備委員会		開校準備委員会		開校	定時制 昼間移行 新南校舎 へ移転
		教育基本計画策定	開校整備委員会	開校準備委員会	商業科 新設			
分校の魅力化、活性化	学校魅力化地域連携協議会（仮称）							
学級減対象校					新庄南(商) 募集停止 新庄北(全)	(閉科)		新庄新A(全)

B 案

- ◇ 令和8年度、新庄北と新庄南（普通科、商業科）を統合し、新庄新B高校（仮称）を開校
- ◇ 令和9年度、定時制を夜間から昼間に移行

令和元年度の高校配置 6校 16学級

新庄北
普通科
全日制 5学級
定時制(夜) 1学級

新庄北
最上校
普通科
1学級

新庄南
普通科 2学級
商業科 1学級

新庄南
金山校
普通科
1学級

新庄神室産業
農業科 2学級
工業科 2学級

新庄神室産業
真室川校
普通科
1学級

キャンパス制

キャンパス制

キャンパス制

令和6年度
(全)1学級減

[3分校については、令和2年度から「学校魅力化に係る地域連携協議会（仮称）」等において、魅力化・活性化策を検討し、3年間を目処に実施]

令和9年度の高校配置 5校 14~15学級

新庄新B高校（仮称）
普通科 5~6学級
商業科 1学級
定時制(昼)
普通科 1学級

新庄神室産業高校
農業科 2学級
工業科 2学級

最上校
普通科
1学級

金山校
普通科
1学級

真室川校
普通科
1学級

学校の魅力化・活性化策の実施後、入学者数の推移によっては、学校の在り方について、改めて地元自治体と協議

全日制の課程

概要

- 普通科5~6学級、商業科1学級
- 令和8年度開校に伴い、新庄北・新庄南在籍生は転学
- 新庄北の敷地・校舎を活用

特色

- ・多様な学習ニーズに応えるコースや特色ある選択科目を開設し、進学から就職まで幅広い進路希望を実現
- ・単位制を導入し、教科の特性や生徒の学習目標に応じた少人数や習熟度別指導を行い、生徒の学力向上を実現
- ・地域社会と連携した活動を展開し、地域課題に係る探究型学習を行い、将来地域を牽引する力をもつ人材を育成
- ・ビジネスの基礎的な知識・技術の習得に加え、地域の産業や地域資源を幅広く学習し、地域との関わりを重視した実践的な商業教育を推進

定時制の課程

概要

- 令和9年度に、新庄新B（仮称）定時制(夜)の各年次を定時制(昼)に移行
- 新庄新B（仮称）定時制(昼)は、新庄南の敷地・校舎を活用

特色

- ・様々な入学動機や学習歴を持つ生徒の多様な学習ニーズに対応
- ・学び直しを充実させるとともに、多様な進路希望や興味・関心に対応した幅広い選択科目を開設し、主体的に学ぶ生徒を育成
- ・地域と連携した体験的活動を通して教育の幅を広げ、地域社会に貢献する人材を育成

<令和9年度までのスケジュール>

年度	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9
新庄新B高校（仮称）	再編整備 計画策定	教育基本 計画策定	開校整備委員会		開校準備委員会		開校	定時制 昼間移行 新南校舎 へ移転
分校の魅力化、活性化	学校魅力化地域連携協議会（仮称）							
学級減対象校					新庄北(全)		新庄新B(全普)	

2 3分校の取り扱い

◆ 学校が所在する自治体等の意向を踏まえ、令和2年度から、学校関係者及び当該自治体等で構成する「学校魅力化に係る地域連携協議会（仮称）」等において、学校の魅力化、活性化策を検討し、3年間を目処として実施する。

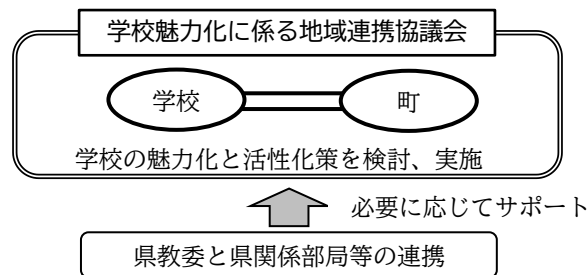
実施後においても、入学者に増加傾向が見られない場合※は、設置主体を含めた学校の在り方について、地元自治体と改めて協議する。

※ 目安として、入学者数が2年連続して入学定員の2分の1に満たない場合とする。

<学校魅力化に係る地域連携協議会（仮称）について>

- ・ 1学年当たり1学級の学校が所在する自治体ごとに設置する。
- ・ 地元自治体と学校が主体となって運営し、教育庁と関係部局等が連携しながらサポートする。

(イメージ)



◆ 今後、本校化やキャンパス制の在り方について検討する。

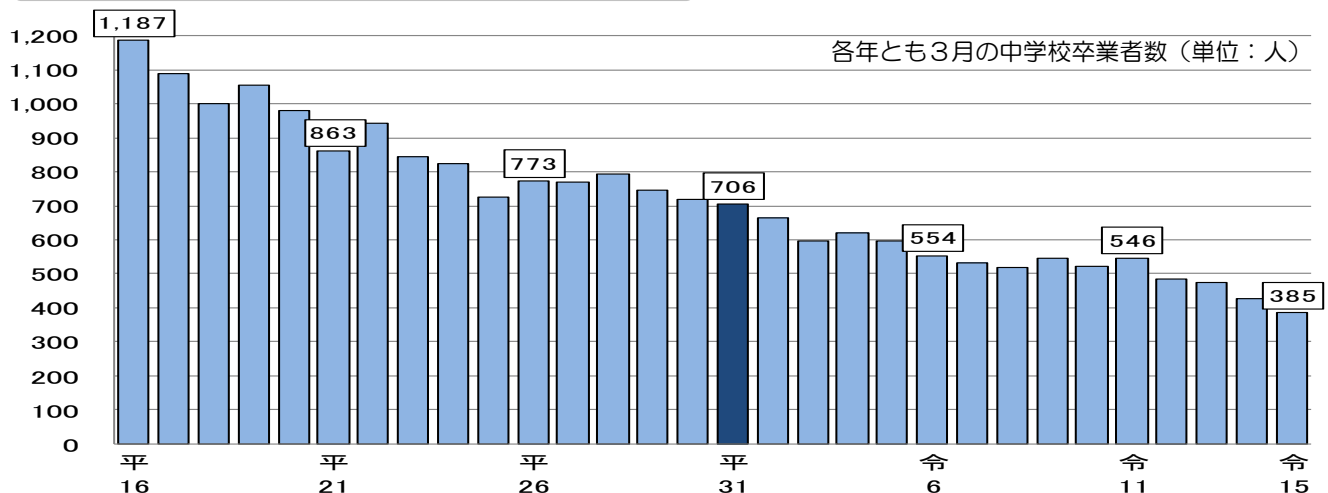
<資料編>

最上地区の県立高校の過去5年間の入学志願倍率

学校名		学 科	定員*	平 27	平 28	平 29	平 30	平 31
新庄北	全日制	普 通	200名	0.83	1.02	0.80	0.90	1.07
	定時制	普 通	40名	0.03	0.15	0.18	0.13	0.30
新庄北最上校		普 通	40名	0.73	0.53	0.65	0.60	0.20
新庄南	普 通	80名	0.93	1.07	1.03	1.08	1.00	
	商 業	40名	1.08	0.75	1.03	0.83	1.00	
新庄南金山校		普 通	40名	0.98	0.55	0.73	0.65	0.38
新庄神室産業	農 業	80名	0.63	0.84	0.65	0.79	0.61	
	工 業	80名	0.89	0.81	0.95	0.93	0.80	
新庄神室産業真室川校		普 通	40名	0.45	0.60	0.78	0.50	0.23

(※ 平成31年度の入学定員)

最上地区中学校卒業生・見込者数の推移



【お問い合わせ】 山形県教育庁高校教育課 高校改革推進室 TEL 023(630)2493 FAX 023(630)2774
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号

※ 最上地区の県立高校再編整備の情報は、県ホームページ <http://www.pref.yamagata.jp/ou/kyoiku/700013/> でご覧になれます。